

# 北東アジア経済協力からみた吉林省自由貿易試験区設立の今後と課題

吉林大学経済学院准教授 関麗潔  
 福島大学経済経営学類准教授・ERINA 共同研究員 朱永浩  
 吉林大学経済学院教授 紀玉山

## 1. はじめに

中国東北部、日本、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシア極東からなる北東アジア地域は、経済的相互依存関係が高く、世界で最も大きな発展の潜在力を持つ地域の一つである。北東アジア地域経済協力の推進において、貿易の自由化と投資の利便化が重要な役割を果たしている。

中国共産党第18期中央委員会第3回全体会議で審議・採択された「改革の全面的深化における若干の重大な問題に関する中共中央の決定」において、自由貿易試験区が新しい情勢のなかで改革開放を推進する重大な施策であると指摘された。産業構造の最適化・高度化を目的として設立される予定の吉林省自由貿易試験区は、インフラの整備、政策環境の最適化、物流ルートの円滑化、技術革新の創出、産業構造の最適化、国際競争力の強化、周辺国家への影響力強化のための自由貿易試験区になると期待されている。

吉林省自由貿易試験区の設立は、北東アジア地域経済協力を推進し、各国間で資源が自由に移動することを促し、それぞれの有利な条件での相互補完による相互利益が享受できる関係を実現し、北東アジア地域の投資と貿易の自由化における新ルートを積極的に探索し、北東アジア地域経済協力における重要な機能を有効に発揮させ、吉林省における開放型経済の新たな局面を迎えるであろう。

## 2. 中国における自由貿易試験区設立の戦略的意義

### 2.1. 改革開放の促進、市場メカニズムの確立および政府機能の転換

中国経済はいま、経済発展のモデルを転換し、産業構造の最適化と経済成長を実現し、経済実体内部に生産要素が自由に移動できる保証制度の構築が求められている(季鏞, 2003)。改革開放のさらなる推進、市場メカニズムの形成は、生産要素の自由な移動を保証する。自由貿易試験区は、地域経済協力の一つの形式として、市場を一層開放し、主権国家による市場保護をある程度打破し、市場の資源配分機能を強化することが求められる。こうしたメカニズムが客観的に政府の経済運営への不適当な干渉を抑制し、市場の経済に対する調整機能を十分に発揮させ、経済発展の過程

において市場メカニズムの形成を促進する。

従って、自由貿易試験区の設立は、中国経済体制改革の推進、対外開放の拡大および社会主義市場経済体制の形成にとって強力な推進力となる。対外開放が経済体制改革とともに市場の資源最適化配分における主要な役割を果たし、経済に関与する政府の行政権力を弱め、政府機能の理念の転換を促進する。さらに、政府機構を簡素化して地方行政部門等に権限を委譲し、市場秩序を維持する方針のもと、効率的な政府を実現することができる。

### 2.2. 外資誘致、イノベーションの創出および産業構造の調整・高度化

自由貿易試験区の本質は貿易の自由化である。具体的には、自由貿易試験区では貿易における関税、数量制限などの障壁を撤廃し、輸出品のコストを低減あるいはなくすことで、輸出価格を下げるのが可能である。これにより、外資を誘致して投資国において比較優位をもつ製品の生産と経営に従事することになる。外資導入の結果、出資国から新たな経営理念・管理方法・先進的な技術などを取り入れ、国内産業のイノベーション能力の向上が促される。同時に、自由貿易試験区での関税撤廃により、輸入品の高価格の状況がなくなり、輸入国側の国内市場での競争を一層刺激することになり、その競争が絶えず加速され技術革新を生む。

技術革新は労働生産性を向上させ、生産コストを下げ、新技術を採用する企業は超過利潤を得ることができる。そのため、利益を追求する企業は絶えず技術の改善を促し、イノベーション能力を向上させるのに有利である。新技術が産業自体の進歩とレベルアップを促すだけでなく、産業間の連動性が新技術のその他産業への普及・拡大と周辺地域への拡大をもたらす。技術革新は新しい産業を生み出せると同時に伝統産業の衰退あるいは壊滅をもたらす。新旧産業の交替は産業構造を絶えずレベルアップさせてくれる。産業構造は経済実体の生産規模と製品構造を決定し、国家の製品競争能力を決定している(関麗潔・紀玉山, 2013)。

## 2.3. 対外貿易の拡大、市場形成の促進およびウィンウィン関係の実現

自由貿易試験区内での関税を撤廃し、自由化を実行するに当たって、もともと本国で生産されていた高コストの製品は低コストの貿易相手国の製品により取って替われ、これにより新たな貿易が創出される。本国では、生産された高コスト製品の資源を低コスト製品の生産に移行させることにより利益を得る。自由貿易試験区の優遇政策によって、より多くの貿易機会を引き付け、貿易額と経済的な利益を増やし、貿易国間の相互利益を享受できる関係を実現させるだろう。これはいわば、自由貿易試験区内の経済発展がもたらすプラスの効果である。

自由貿易試験区で関税障壁を撤廃することにより、中国と他国間、特に地理的な位置が隣接している経済体の資源の移動を促進し、貿易額を拡大させることになる。貿易規模の絶えざる拡大は、貿易自由化の歩みと貿易国間の単一市場形成を加速させ、互いに利益を享受できる双方向的な関係を実現する可能性が高い。

## 3. 吉林省自由貿易試験区の設立構想

### 3.1. 吉林省自由貿易試験区の特徴

吉林省は中国東北部に位置し、重要な工業基地であり、産業構造が重化学工業に偏重しており、民間経済の発展が不十分で、経済体制・メカニズムにおいて更なる革新が必要で、対外貿易の発展と対外開放の強化が求められている。改革開放以来、吉林省の対外開放は著しい進歩を遂げ、経済の発展レベルを向上させてきた。しかし、他の地域に比べて、対外貿易に占める吉林省の割合は少ない。ただ、吉林省では北東アジア地域における地理的優位性が存在し、吉林省自由貿易試験区の設立は北東アジア経済協力を推進し、同省の国際化に重要な役割を果たすと思われる。

吉林省自由貿易試験区の設立構想は、上海・広東・香港・マカオなどの沿海発展地域の状況とは異なる。上海自由貿易試験区は「四区三港」、すなわち上海市外高橋保税区、外高橋物流園区、洋山港保税港区、上海浦東空港総合保税区から構成される。その総面積は計28.78平方キロメートルに上る。そして上海自由貿易試験区は金融改革に重点を置いている。

粵港澳（広東省・香港・マカオ）自由貿易試験区は、広州市の南沙・深圳市前海および珠海市の横琴によって構成される地域的な自由貿易試験区である。香港の優位性を生かしながら、広東省と香港・マカオの緊密な経済提携に

より、珠江デルタ地域の発展を牽引するものと位置づけられている。したがって、上海自由貿易試験区と粵港澳自由貿易試験区はかなり異なっている。

一方、現在計画中の吉林省自由貿易試験区にもそれ自体の特性がある。それは産業構造の高度化を図ることに重点に置き、北東アジア地域における地理的優位性を生かし、長吉図開発開放先導区に依拠して、琿春国際協力モデル区（90平方キロメートル）を中心とし、既存の国際産業協力区・国境貿易協力区・中朝琿春経済協力区および中朝琿春経済協力区などを統合し、吉林省自由貿易試験区を設立する。自由貿易試験区をハイエンド産業エリア・物流産業エリア・総合サービスエリア・生態的で快適な住居エリアなど、相互に独立しつつ密接に関係する機能区に分ける計画である。

吉林省自由貿易試験区は金融の自由化、貿易の利便化などの条件を整備し、国外の資本と技術を誘致して自由貿易試験区で起業させるとともに、吉林省自由貿易試験区のインフラが完備され、政策環境が整い、物流ルートが円滑化し、優れた技術革新があり、産業構造が最適化され、強い国際競争力や周辺国家に影響力を有する国境自由貿易エリアとして設立されるだろう。

### 3.2. 吉林省自由貿易試験区設立の優位性

#### (1) 地理的優位性

図們江は吉林省の東南部の国境に位置し、中国・北朝鮮・ロシアとつながり、中国と北朝鮮の境界線と、ロシアと北朝鮮の境界線の流れ、陸路から日本海につながる唯一の水上ルートである。歴史上、これは「海上シルクロード」と呼ばれ、中原地域と日本・ロシアなどの北東アジア諸国との貿易、文化交流に重要な役割を果たした。

琿春市は図們江の下流域に位置し、中国・北朝鮮・ロシアの3カ国が隣接しているところにあり、水路で中国吉林省から韓国の東海岸、日本の西海岸、ひいては北米・北欧まで至るのに最も近い。琿春市の東北部とロシア沿海地方とは246キロメートルの国境線があり、現在、琿春鉄道税関と琿春国境税関がある。琿春市の南部は図們江をはさんで北朝鮮の咸鏡北道と国境線130.5キロで接しており、圏河口岸と沙河子口岸（通関ポイント）が中国と北朝鮮両国の貿易と交流にルートを提供しており、北朝鮮の羅先経済貿易地帯が圏河口岸の対岸に位置している。図們江に沿って下ると、琿春から僅か15キロメートルもない距離で日本海に入る。現在、琿春は3つの一類口岸、1つの二類口岸、1つの国家級経済開発区を有している。

## (2)改革開放の有利な条件および国際協力の経験

1992年、中国・北朝鮮・韓国・ロシアおよびモンゴルの共同提案と参加のもとで、国連開発計画（UNDP）が図們江地域発展計画（The Tumen River Area Development Program：TRADP）を策定し、図們江地域に対して積極的な開発を行うこととした。同年3月9日、中国政府は琿春市を対外開放国境都市として批准し、同時に琿春国境経済協力区の設立を承認した。2009年8月、中国政府が「中国図們江地域協力開発計画綱要－長吉図を開発開放の先導区とする」を公布し、図們江流域の発展を一層推し進め、地域内の重点プロジェクトが次々に着手され、次第に完成した。2012年4月13日、国務院は琿春市を北東アジア地域における総合的な交通運輸ハブ都市として打ち立てると同時に、中国図們江地域（琿春）国際協力モデル区として承認した。

## (3)産業基盤

吉林省は長い工業発展の歴史を有し、自動車・石油化学・農産品加工業の3つの基幹産業と、設備製造・電気通信・医薬・冶金・建築材料・軽工業（なかでも紡績業）などの有力な産業が形成されており、現在、この9分野を約千億元規模の産業に育成すべく積極的に取り組んでいる。

吉林省の産業構造では工業の占める割合が比較的高いが、このうち、自動車産業はいま新エネルギー自動車にまい進し、研究開発・サービスなどで目覚ましい進歩を遂げている。さらに、吉林省は精密化学工業・トモロコシおよび薬の細密加工・レール製造・風力発電・新型電子機器部品・新世代情報技術・ソフトウェアと情報サービス・バイオ製薬および医療設備機器機械などの産業において一層有利な条件を得ている。

## (4)技術革新力

吉林省には高等教育機関と研究所が数多くあり、高い技術研究開発能力を有している。吉林大学、東北師範大学、延辺大学などの国家級重点大学および長春応用化学研究所、長春バイオ製品研究所、長春光学精密機器研究所などの研究機関は高度なイノベーション能力があり、豊富な研究成果を生み出し、吉林省自由貿易試験区の設立のための重要な基盤となりえている。

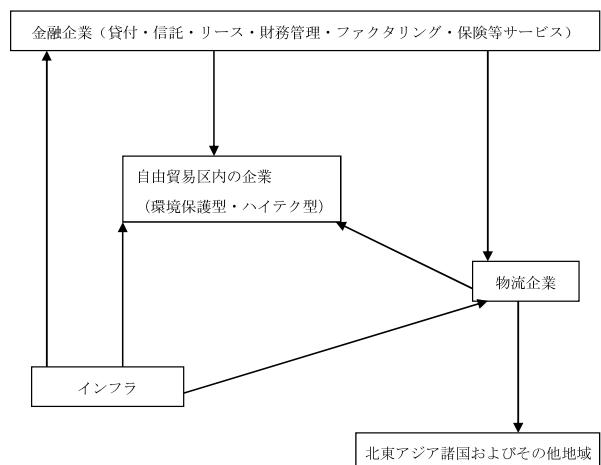
### 3.3. 吉林省自由貿易試験区の全体的な発展構想

各国の自由貿易試験区の創設の経験に照らせば、吉林省の特徴に合った自由貿易試験区をつくり、発展させることが必要である。そのためには、第一に、産業構造の高度化

と最適化を設立の主要な目的とし、優れた資源と有利な産業条件を生かし、省内企業のグローバル化に向けたプラットフォームをつくり、国際競争力を向上させる。第二に、産業構造の高度化と最適化のため、貿易自由化と政策の利便化を実施し、各種の生産要素を自由に移動させ、資源配置の効率を高める。第三に、金融業による産業構造の高度化・最適化へのサービス機能を十分に発揮させ、国内外の金融機構の自由貿易試験区への誘致を支援し、投資信託・リース・抵当・ファクタリング（債権買取）などの多様な現代的金融サービスを提供させ、金融業務における銀行・証券・保険の兼業を許可し、吉林省の金融サービス市場を開放する。第四に、外国からの投資に適した政策環境とインフラを整備し、中国およびロシア、モンゴル、韓国、北朝鮮、日本の相互の文化、経済交流などを全面的に推進する（図1参照）。

このように吉林省自由貿易試験区を発展させるために、いくつかの課題に直面している。具体的には以下のとおりである。

図1 吉林省自由貿易試験区内の企業関係の運用構想図



（出所）筆者作成

## (1)行政能力の向上およびサービス機能の強化

行政の審査・批准制度の改革を一層推進し、市場メカニズム調節の効果を十分に発揮させ、「ネガティブリスト」管理を実施し、政府のミクロレベルの事務への関与を最大限減らすようにする。投資体制改革も推進し、企業が市場への参入をしやすくし、省エネ・土地の集約と節水・環境・技術・安全などにおける市場参入基準を規範化する。市場秩序の監視と管理・社会管理・環境保護などにおいて各種公共サービスの提供を強化する。金融・教育・文化・医療のサービス業分野を次第に開放し、育児と老人介護・建築

デザイン・会計監査・商業貿易物流・電子商取引などの分野における外資の参入規制を緩める。政府の政策理念を転換し、機構と人員の整理および権限の委譲を進め、市場秩序を守る方向でサービス型・高効率な政府を実現する。

#### (2)既存産業の最適化と高度化および新興産業の発展

グローバル産業の構造転換といった戦略的な機会をとらえ、吉林省の有力な産業をベースに、付加価値が高く、科学技術性が高く、競争力が強い産業を発展させる。イノベーションと技術の導入を通じて、自動車・石油化学などの伝統的な産業の中核的な競争力を絶えず高め、伝統産業構造の最適化とレベルアップを推進し、重化学工業における軽量化とハイテク化を促進する。新エネルギー自動車、バイオ製薬、光デジタル、新素材などの戦略的新興産業を速やかに発展させ、伝統的な有力産業と戦略的新興産業の融合を促進し、将来的に競争力のある新興産業群を形成する。とりわけ、大きな潜在成長力と競争力をもつ通化東宝集団、長春大成玉米開発有限公司などの外向型企業を自由貿易試験区内に誘致する。

#### (3)科学技術革新サービスシステムの整備および産学連携の促進

市場指向の科学研究革新サービスプラットフォームを構築し、科学研究成果の市場取引システムを整備し、産学連携を促進する。発達したネットワーク技術と環境を積極的に利用し、プロジェクトを中心にバーチャルイノベーションチームを創設し、国内外の科学技術イノベーションの協力関係を実現する。自由貿易試験区の科学技術革新のサービスシステムを整備し、国内外の多様な知的資源を誘致して、自由貿易試験区の発展に貢献する。

#### (4)物流システムの整備およびハイテク物流業の発展

物流分野の多国籍企業を積極的に支援し、サービス指向がより明確で、国際化の視野がより広く、科学技術力がより高い4PL (Fourth Party Logistics) を積極的に発展させ、自由貿易試験区内の企業物流コストを大幅に低減し、自由貿易試験区の魅力を向上させる。

#### (5)金融システムの整備およびメカニズムの刷新

積極的な条件整備で国際的に知名度のある国外の銀行を誘致し、国際化の資質を備え、株式の構造が合理的で競争力がある新たな銀行を設立する。金融サービスの種類を増やし、国際化の視野をもち、国際化ニーズに応える信託・

リース・ファクタリング・抵当・財務管理などのハイエンドな金融サービスを重点的に発展させる。

#### (6)インフラ整備の強化

自由貿易試験区のインフラを整備・向上させるために、①吉林～図們～琿春鉄道と琿春市街地から国境税関を結ぶ道路を速やかに建設し、琿春～東寧鉄道プロジェクトの準備作業を進め、圈河口岸・琿春口岸・琿春鉄道口岸の積み替えステーションなどのインフラ拡張工事を行い、②道路・水道・暖房・電力・通信・汚水処理・廃棄物処理などの施設を一層改善し、自由貿易試験区の機能を全面的に強化し、③圈河口岸と羅津港を結ぶ道路を改修し、羅津港とザルビノ港の改築・拡張工事を進め、圈河口岸～元汀口岸国境道路橋を新たに建設することで、琿春国際協力モデル区へスムーズにアクセスでき、便利な交通機能を備え、国内外に影響を与える国際化窓口を作り上げ、④自由貿易試験区におけるインターネット環境を強化し、有線・無線LANと4Gネットワークの全域カバーを実現することが必要である。

### 3.4. 吉林省自由貿易試験区内の産業と技術の特徴

#### (1)環境保護

中国経済の発展プロセスにおいて、経済成長の速さは一貫して主要な目標であった。中国政府が経済成長の速さのみ追求し、経済成長の方式を主に「粗放型」にしたことは、中国に過度の投資・資源の浪費・環境汚染などの結果をもたらし、世界平均水準より遥かに低い中国の一人当たりの資源占有量をより深刻な状況に導いてしまった。また、資源不足と環境悪化は中国経済が持続的に発展していくことを制約するボトルネックとなっており、生態、社会、経済の間で一連の悪循環を招いた。

経済が発展するにつれ、人々の生活の質、生活態度や価値観が変化し、環境保護の意識も強くなり、人々は経済発展の過程で生じるニーズに加え、人と自然の共生、心身の健康など、より良い生活環境を求めるようになった。技術革新では新エネルギー、省エネ・排気ガス削減、情報技術の開発が目立っており、資源・環境の制限および利益の追求に求められる技術と革新は、環境浄化、生態保護の要素をさらに多く含んでいる。

したがって、自由貿易試験区は中国が経済体制改革をさらに進める新たな形式として、経済発展における環境への要求に基づき、産業の選択・製品生産の技術・生産過程・使用・処理などにおいて、環境保護、資源・生態保護の原

則に従うことが重要である。

## (2)ハイテク産業

中国政府が2010年10月に公布した『戦略的新興産業の育成と発展の加速化に関する決定』（国発〔2010〕32号）は、省エネと環境保護、新世代情報技術、バイオテクノロジー、先端設備製造、新エネルギー、新素材および新エネルギー自動車は今後20年の重点発展産業となると指摘している。戦略的新興産業は先端技術、戦略的な方向づけの役割、強い影響力と誘導作用、省エネなどの特徴を持っている。

北東アジア諸国において、日本は超伝導技術・材料技術・ナノテクノロジー・化学技術・自動車・情報技術・電子・通信・環境保護技術などの分野において世界をリードしている。韓国は電子・通信・自動車・造船・医療・環境保護などの分野で優位性をもっている。中国は技術の導入、技術協力やイノベーションを通じ、新エネルギー自動車・バイオ製薬・光デジタル・新素材などの戦略的新興産業の発展を促進し、自動車・石油化学等の伝統的な産業の中核的競争力を高め、重化学工業の軽量化とハイテク化を促し、すみやかに伝統的な産業構成の最適化とレベルアップを行い、伝統産業と戦略的新興産業を組み合わせ、将来的に有力な位置を占める戦略的新興産業群を形成する必要がある。

## (3)サービス産業、相互補完性のある低輸送コストの製品

1860年、清王朝が帝政ロシアと「北京条約」を結んだことにより、中国は日本海に出るルート完全に失った。それにより、吉林省自由貿易試験区の海上物流は北朝鮮とロシアの港に頼っているのが現状である。

図們江流域から海への出口の問題を緩和するため、自由貿易試験区は区域内で生産される製品の選択において以下の原則を保持している。①サービス性のある製品。これは無形性（たとえばソフトウェアデザイン・電子商取引・観光など）の特徴があるため、輸送の問題はない。②総コストにおける輸送コストの割合が比較的小さい製品（たとえばチップデータ・ディスクのような体積が小さいハイテク製品）。③相手国との相互依存度が比較的高い製品で、互いに利益が連動し、国外の港湾を安定的に使用できるもの。また、双方の有利な条件で補完する原理に基づき、中国がロシア、北朝鮮と協力して相互依存度の高い製品を開発・生産し、相互に強い利益関係を形成することで、港湾の問題において北朝鮮とロシアと安定した協力関係を維持する。

## 3.5. 吉林省自由貿易試験区の機能のデザイン

吉林省自由貿易試験区の構想は、長吉図（長春～吉林～図們）開発開放先導区に依拠して、琿春国際協力モデル区

の約90平方キロメートルの面積を対象範囲とし、既存の国際産業協力区、国境貿易協力区、中朝琿春経済協力区、中朝琿春経済協力区などの機能別エリアを基に、自由貿易試験区の製品と技術の特徴に合わせ、改めて調整・計画することにより、ハイテク園区、物流園区、総合サービス園区、生態居住区などの独立しつつ密接に関係する機能別エリアに分ける。

## (1)国際ハイテク産業協力エリア

このエリアは、吉林省の産業構造の最適化とグレードアップを推進し、重化学工業の軽量化とハイテク化を進める責任がある。イノベーションと技術の導入を通じて、自動車、石油化学などの伝統的な産業の中核的な競争力を絶えず高め、新エネルギー自動車・バイオ製薬・光デジタル・新素材などの戦略的新興産業の発展を促し、伝統産業における有利な条件と戦略的新興産業を合体させることにより、将来的に競争力がある有力な戦略的新興産業群を形成する。主な業務内容は以下のとおりである。

①ハイテクデジタル産業区。主な目標は特許・商標権をもつ新製品・新技術を開発し、情報電子産業の全面的な発展を実現し、積極的にモノのインターネット（Internet of Things）を進める。

②装備製造産業。日本・韓国と自動車の先進技術で共同研究開発・導入を積極的に行い、自動車のエンジン、自動車の新エネルギーなどの技術研究開発およびイノベーションに力を入れ、自動車の組立と部品生産を重点化し、設備組立製造業のすみやかな発展を促す。

③循環型経済産業。太陽光エネルギー、風力エネルギー、海洋エネルギー、原子力などの新エネルギー技術を積極的に研究開発・改良利用し、金属材料・無機非金属材料・有機高分子材料・先進複合材料などの新素材を進展させ、循環型経済産業を進展させ、生態を守り、環境の質を改善する。

④バイオ製薬。吉林省の優れたバイオ技術を利用し、比較的市場に将来性がある新型免疫製品と抗ウイルス、心臓・脳・血管病の治療、抗癌などの重大な疾病の新薬を開発する。

## (2)サービス業エリア

### ・金融保険業エリア

金融・保険企業は、製造業・流通サービス型の企業のための融資・貿易決済・商品保険等の業務に責任を負っているため、金融業は融資ルートを開拓し、国際貿易に伴う金融サービスを提供することが求められている。そのため、

国際的に知名度のある国外の銀行を誘致する条件を積極的に整備すると同時に、株式構造が合理的で競争力がある新たなタイプの銀行を成立させる条件を提供する。国外銀行の誘致は、融資ルートを増やすだけでなく、金融サービスの種類を増やし、国際化の視野をもち、国際化ニーズに合った信託・リース・ファクタリング・抵当などのハイエンドな金融サービスを重点的に発展させることになる。

#### ・情報サービスエリア

情報化時代に入ったいま、迅速かつ簡潔で、地域を越え、共同で享受できる、汚染されていない情報が社会のすべての活動に不可欠な資源である。新たな情報サービスシステムを開発し、ネットワーク資源の統合を強化し、情報ネットワークの総合サービス能力を向上させ、情報通信ネットワークにおける応用システムを整備することが情報サービスエリアの主な役割である。

#### ・物流エリア

効率がよく、迅速かつ経済的な専門的物流サービスは、自由貿易試験区が投資者を引き付ける重要な条件である。インフラ整備および物流情報プラットフォームの設立により、図們江地域の関係国が連携する重層的で社会化・専門化した現代サービス体系を構築する。多国籍で合資形態の大手物流企業グループを積極的に支援し、サービス指向をより明確にし、国際化の視野を一層広げ、4PLを積極的に発展させ、自由貿易試験区内の企業物流コストを大幅に低減させ、自由貿易試験区の魅力を高めていく。

#### ・中国・北朝鮮の貿易エリア

中国と北朝鮮の貿易は相互依存度の高い製品を取引対象とし、原材料工業・設備工業・ハイテク産業・軽工業・サービス業・効率的で現代的な農業を重点的に発展させ、北朝鮮の先進的な製造業基地、北東アジア地域の国際物流センター、地域観光センターを段階的に設立する。

#### ・中国・ロシアの貿易エリア

ロシアの豊富な木材・水産物・港湾・観光等の資源条件を利用し、高付加価値の木材製品加工・金属製品加工・国際観光および国境貿易を発展させ、臨港型物流と貿易業を同時に発展させる。

#### ・自由貿易試験区のインフラ整備

高効率で整備された先進的情報システムの整備は、自由貿易試験区に必要な条件である。有線・無線LANおよび

4Gネットワークで全面的にカバーすることを実現し、道路・水道・ヒーティングシステム・電力供給・通信・汚水処理・ごみ処理などの施設を一層整備し、自由貿易試験区の機能を高め、品質の高い生活サービスを提供する。

### 3.6. 吉林省自由貿易試験区設立の課題

#### (1)政策支援

自由貿易試験区の設立は、中国の経済体制改革を一層進める歩みでもある。経済体制改革は政府主要セクターの下位となるサブセクターへの権力移譲、権力資源の再配分、政権担当者の利益が損なわれるなどの課題に直面している。自由貿易試験区の本質は、資源配分における市場の役割を十分に発揮させ、政府に政策方向を導き、支援・監視・管理する機能を発揮させ、経済体制の将来の改革モデル整備が一層進むのを待つ縮図でもある。一部の政権担当者は自身の利益を優先的に考慮しているため、自由貿易試験区の政策支援に悪影響を及ぼすことになる。

このほか、自由貿易試験区は中国政府が支配している自国内の貿易優遇政策を地域で実行するものであり、中国の改革の中で「石橋を叩いて渡る」ことを実践するものであり、経験の蓄積が乏しい政府の自由貿易試験区設立の政策効果に影響を及ぼすであろう。世界の経済発展の動向および中国経済の内在的な発展には、経済体制改革の一層の推進が求められており、自由貿易試験区の設立は、開放を通じて改革を促す経済体制改革を一層進める道である。

#### (2)金融システムの安全性

自由貿易試験区の設立では、金融分野における開放と制度刷新の推進、自由貿易に適した外貨管理体制の構築、国際融資の利便化および為替レート自由化の促進が求められている。また、金融商品の改革、民営資本および外資金融機構への規制緩和、金利の市場化も必要である。ただ、自由貿易試験区の設立のための金融改革を行うことは、中国の金融システムに大きなリスクをもたらすことにもなる。

現在の中国金融システムは国際的な業務への改革能力に乏しく、金融市場の運用メカニズム、監視管理制度、さらに重要なリスク予測メカニズムとリスク回避能力に重大な欠陥が存在する。仮に中国の金融システム自体の実力を過大評価し、外国資本および国内の個人資本に対して全面的に金融業務を開放するならば、外国資本が人民元のレートと金利の操作によって中国の資本市場を資金不足に陥らせ、産業発展の危機を招く恐れがある。

自由貿易試験区の設立において、中国は金融分野で適度に開放する改革を行い、その度合いを把握することが特に

重要である。「適度」な開放により、自由貿易試験区の設立におけるニーズを満たし、発展の中でその都度経験を総括し、金融体制改革を推進するための経験を積み重ねていく。同時に、「適度」な開放によって起こるリスクを金融システムがもつ回避能力のコントロールの範囲内に収めていく。

#### 4. むすびにかえて—自由貿易試験区による北東アジア経済協力への促進

##### 4.1. 北東アジア経済協力を一層推進するための制度的条件

中国の経済開放レベルは北東アジア経済協力を進めていくための重要な役割を果たしている。自由貿易試験区それ自体は、一部の地域の貿易の自由化・利便化によって北東アジア経済協力を促進するものである。

それよりさらに重要な戦略的意義は、政府の行政機能の転換、市場の資源配分機能において先行してモデルになること、そしてその経験を積むことにある。それがメカニズムに浸透して転換を迫ることにより、マクロの面から中国政府の機能の転換を促進し、地方の保護主義を打破し、市場の資源配分に対する決定的な作用を発揮し、市場システムを一層整備し、経済体制改革と対外的な開放を進め、一部の地域から次第に拡大して全国に普及させ、北東アジア地域の経済協りに好ましい市場環境と制度的な保障を与えてくれるはずである。

##### 4.2. 北東アジア地域市場形成への道筋

自由貿易試験区の設立は、中国の多くの企業が国外市場に参入するルートを提供する。中国が国際市場で競争力を持つ新エネルギー自動車・バイオ製薬・光デジタル・新素材などの戦略的新興産業が広範囲に国外市場に参入する条件を提供するとともに、いくつかの伝統的な産業がグレードアップする中で、未発達の外市場に向けて技術力の低い製品の生産に変更する機会をつくり、資源型企業が技術協力により国外進出を実現する可能性を提供してくれる。

同時に、「ネガティブリスト」の管理により、日本、韓国、ロシアなどが比較優位を持つ製品が中国に進出する新たなルートを提供する。金融改革は北東アジア経済協りに融資ルートと製品を提供し、企業の協力における資金のボトルネックの解消にも役立つ。自由貿易試験区が提供する国際化ニーズに合った信託・リース・抵当・ファクタリングなどの高付加価値の金融サービスや、国際化の広い視野をもち科学技術力の高い4PL、有線・無線LANや4Gネットワークの全域カバーといったサービスシステムの実現は、国内

外の製品が国外市場に進出するのに重要な資金とサービスの保障を提供してくれる。その結果、北東アジア地域における協力企業の技術変革能力を強化し、産業構造を最適化することが実現できる。

##### 4.3. 北東アジア地域の協力企業の技術革新能力の向上と産業構造の最適化

技術変革は二つの側面で決まる。一つは、市場競争による推進力、もう一つは企業内部の変革能力である。自由貿易試験区の設立は、外部環境からみると、国外の「比較的利益のある」商品の生産・交換を促すことになり、こうした技術的に優位にある商品が国内市場の競争を促進し、市場競争により吉林省企業の技術革新を加速させるだろう。

その一方、産業の内部からみると、自由貿易試験区は現代サービス業、ハイエンド製造業、省エネ・環境保護・エコロジー経済などが投資の重点分野となり、これらの分野が資金導入を促し、貿易相手国の技術革新能力を大いに改善させることになる。技術革新は経済体内部の産業クラスターが産業内と産業間において拡散することによって、経済体の産業構造の最適化と産業技術レベルアップを推進するのである。

##### 4.4. エネルギー構造の転換、クリーン・エネルギー技術の発展、炭素排出の削減への貢献

吉林省自由貿易試験区の設立は、国際的な資源を十分に利用するのに役立つ。中国東北部のエネルギー構造は石炭が中心であり、企業による炭素の排出がかなり多い。自由貿易試験区は、吉林省企業とロシア・モンゴル・北朝鮮の石油や天然ガスなどの資源貿易を促進するのに役立ち、吉林省のエネルギー構造の転換をもたらすことが可能である。また、韓国・日本の先進的なクリーン・エネルギー技術および環境保護技術は、企業の生産過程において排出される炭素量を低減してくれる。

吉林省自由貿易試験区の設立は、新たな歴史の起点としてまたとないチャンスであり、中国東北部もしくは北東アジア地域の新たな成長スポットとなり、中国、ロシア、日本、韓国、北朝鮮、モンゴルの地域経済協力を進め、各国間の資源の自由移動を促進し、経済貿易協力コストを抑え、それぞれの有利な条件で互いに補い合い、利益を享受できる関係の実現につながるはずである。

##### 参考文献

(1) 季铸「中国結構性増長的経済選択」、『財経経済』2003年第5号、2003年5月。

- (2) 閔麗潔・紀玉山「技術創新、制度創新与跨越“産業結構陷阱”」、『馬克思主義研究』2013年第8号、2013年8月。
- (3) 楊揚・李彩薇「東北老工業基地産業集群競争態勢及对外分析」、『当代經濟』2013年第7号、2013年4月。
- (4) 金成暎・任妍「東北老工業基地産業結構調整与主導産業選択実証研究」、『稅務与經濟』2005年第5号、2005年10月。
- (5) 李紹萍・王倩・王甲山「基於SWOT法的東北老工業基地低碳經濟發展策略分析」、『遼寧大學學報（哲學社會科學版）』2013年第3号、2013年5月。
- (6) 閔麗潔・紀玉山・王塑鋒「東北老工業基地振興与吉林省自貿区建設」、『長白學刊』2014年第4号、2014年7月。
- (7) 朱永浩「中国東北地域と北東アジアの經濟關係の進展」、『東アジアへの視点』25卷3号、2014年9月。

## *The Future and Challenges for the Establishment of the Jilin Province Pilot Free Trade Zone from the Perspective of Northeast Asian Economic Cooperation*

GUAN, Lijie

Associate Professor, Economics School, Jilin University

ZHU, Yonghao

Associate Professor, Faculty of Economics and Business Administration, Fukushima University, and  
ERINA Collaborative Researcher

JI, Yushan

Professor, Economics School, Jilin University

### **Summary**

The establishment of Pilot Free Trade Zones is a new measure for the Chinese government to further advance its reform and opening policy, and is promoting the functional transformation of government, and bringing into play an intrinsic role in the allocation of resources to the market. The plan for the establishment of the Jilin Province Pilot Free Trade Zone takes as its goal the sophistication and optimization of industrial structure, and should: effect policy for the liberalization and easing-up of trade; open up the financial services market of Jilin Province, bringing into play a role for realizing the sophistication and optimization of the industrial structure in the finance industry; and swiftly promote the regional economic cooperation of China, Russia, the DPRK, Japan, the ROK, and Mongolia, bring about mutual complementarity on respectively favorable terms, and realize relationships capable of reaping the benefits.

With support being obtained from the systemic guarantees and finance for the Revitalization of the Northeast Old Industrial Base, and raising the capacity for technological innovation, the establishment of a Pilot Free Trade Zone will likely realize the optimization of industrial structure. At the same time, it points to routes to regional market formation, providing the systemic conditions for the deepening of Northeast Asian economic cooperation. Furthermore, strongly advancing the raising of the capacity for technological innovation of cooperating firms within the Northeast Asian region and the optimization of industrial structure, it is beneficial for promoting trade in resources—including the development of the oil and natural gas, coal, and minerals of Russia, Mongolia, and the DPRK—with Jilin Province firms, and will likely contribute to the transformation of the energy structure of Jilin Province.

[Translated by ERINA]